

価格.com、目前に迫る「電力自由化」について調査結果を発表！

「電力自由化」の認知率ほぼ100%、うち半数が「内容を知っている」
興味のある料金プランは「電気単体の割引プラン」が6割でトップ
新規参入事業者では「ガス」「携帯キャリア」会社への関心が高い結果に
事前申し込み率は7.5%。申し込んでいない理由は「様子見」が約半数

カカコムが運営する購買支援サイト「価格.com（カカドットコム）：<http://kakaku.com/>」では、4月からスタートする「電力小売り自由化」について、直前アンケート調査を実施しました。電力自由化の認知度や、興味のある電力会社やプラン、事前申し込み状況などについて聞きました。一部結果は、2015年10月実施の電力自由化に関する調査結果と比較しています。

【調査パネル】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

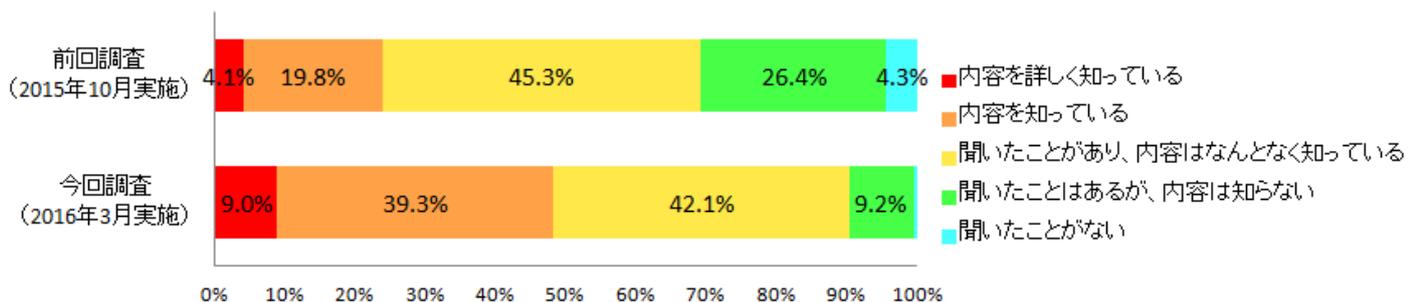
回答者数：3,260人 調査期間：2016年3月1日～3月7日

調査実施機関：株式会社カカコム ※四捨五入による端数処理のため合計が100%にならないことがあります。

電力自由化の認知率：ほぼ100%。内容を知っている割合も昨年秋より増えて半数近くに

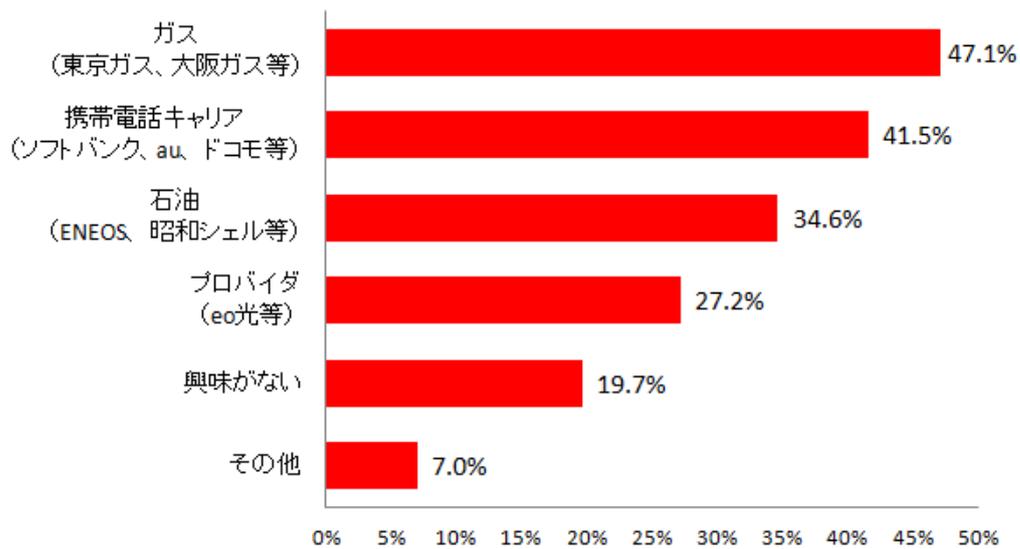
電力自由化という言葉を知ったことがある人はほぼ100%。「内容を知っている」人は48.3%にのぼりました（内容を詳しく知っている・内容を知っている人の合計）。2015年10月の調査結果では、「内容を知っている」と答えた人が23.9%だったことから、電力自由化を目前に、認知度は順調に上がっていると言えそうです。

【図1. 電力自由化の認知率（単一回答・前回調査との比較）】

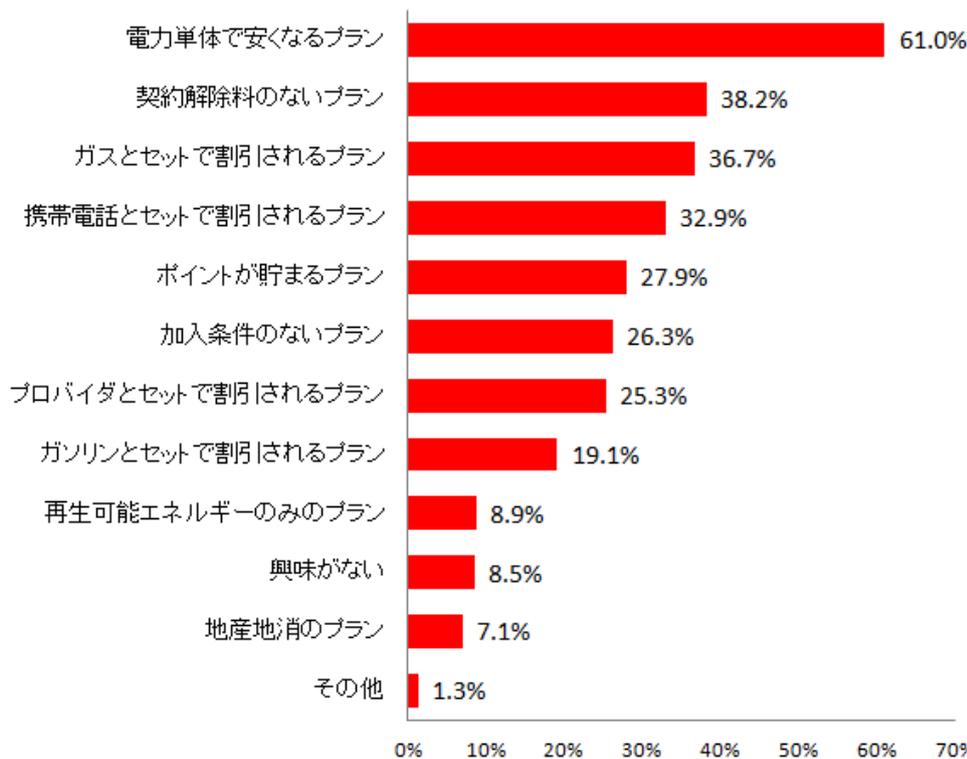
**興味のある電力会社と料金プラン：「ガス」「携帯電話キャリア」会社が関心を集める。****料金プランとしては「電気単体の割引」への興味が高いという結果に**

新規参入の電力会社（販売代理店）のうち、「興味のある事業者の業種」についての質問には「ガス」が5割弱で最多、次いで「携帯電話キャリア」、「石油」という結果に（図2）。しかし、「興味のある料金プラン」についての質問には「電気単体で安くなるプラン」（61.0%）が突出する結果となりました（図3）。セット割引に対する関心はあるものの、実際にいくら節約できるのかわかりにくい現状もあり、よりわかりやすい、電気単体で安くなるプランへの興味が高まっていると考えられます。また、2番目に多かったのは「契約解除料がないプラン」で、最低利用期間があったり、切り替えタイミングに制限がかかったりすることを心配する声も多く聞かれました。

【図 2. 興味がある新規参入の電力会社（複数回答）】



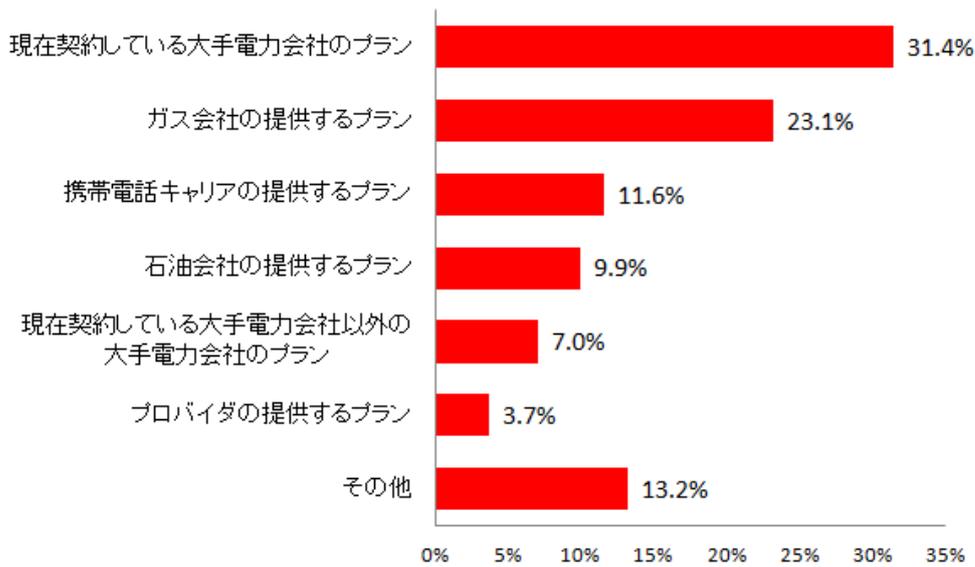
【図 3. 興味がある料金プラン（複数回答）】



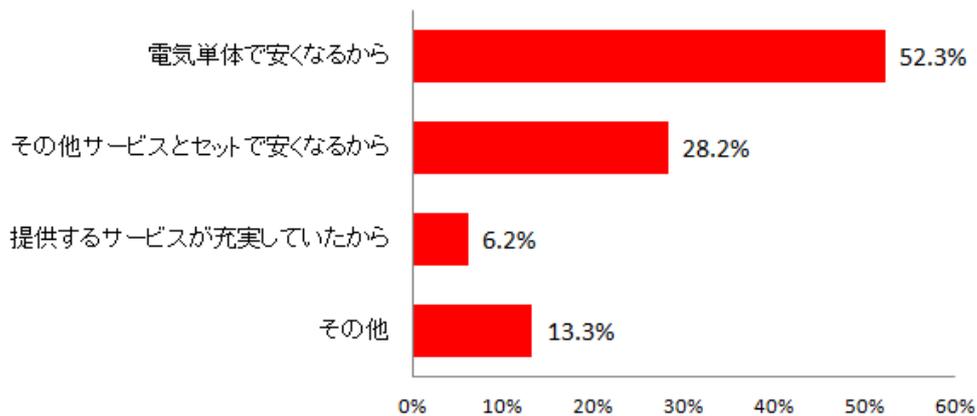
事前申し込みについて：申し込み済は 7.5%。「大手電力会社」の「電気単体で安くなるプラン」が人気。インターネット経由の事前申し込みが約 6 割

4月の電力自由化スタートに先立ち、すでに多くの小売り事業者が事前申し込みを受け付けていますが、今回の調査では、7.5%の人が事前申し込みをしたと回答しました。申し込んだ電力会社・プランは、「現在契約している大手電力会社のプラン」への申し込みが最多（図 4）。プラン選びの決め手は「電気単体で安くなるから」がトップとなりました。ガスや携帯キャリア会社などのセット販売については、今後の伸びしろがあるといえそうです（図 5）。申し込み経路については、「事業者のウェブサイトから直接」が最多。次いで、「比較サイト経由」、「店頭受付の窓口」と続き、全体の 6 割弱がインターネット経由で申し込んだこととなります（図 6）。

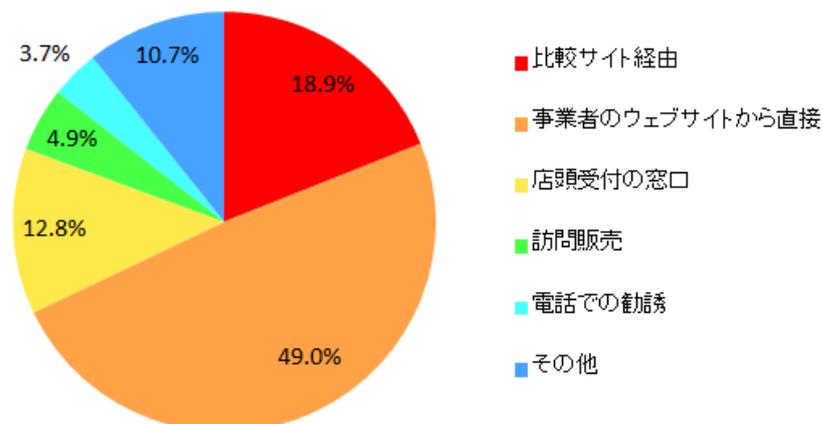
【図 4. 申し込んだプラン（単一回答）】



【図 5. そのプランに申し込んだ決め手（単一回答）】



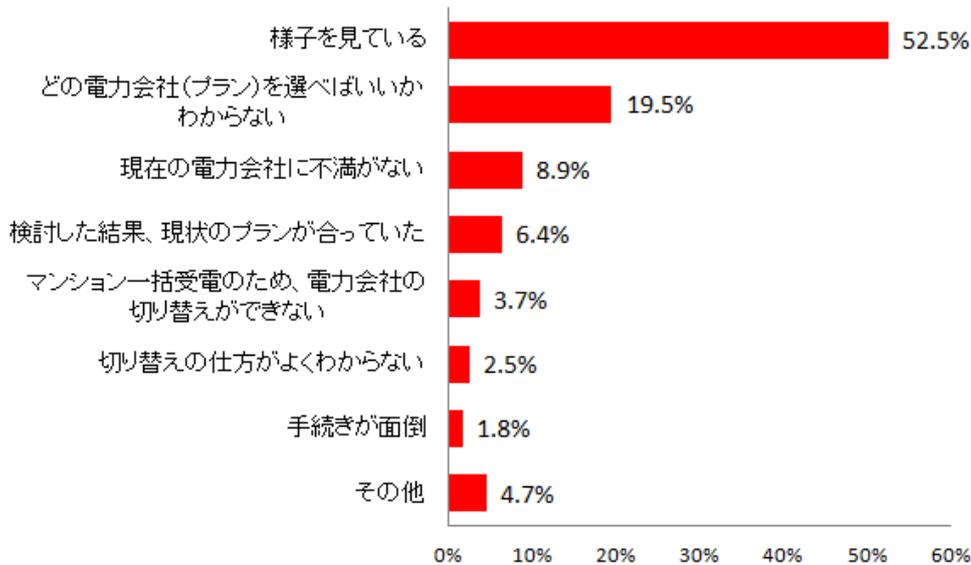
【図 6. 申し込みの方法（単一回答）】



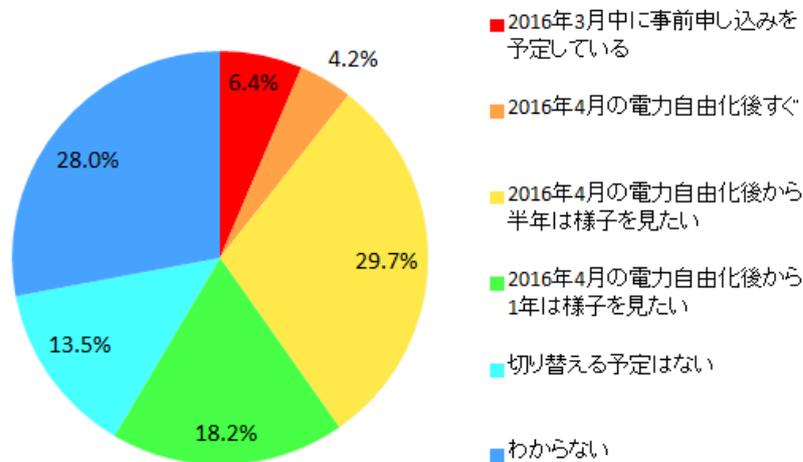
事前申し込みをしていない理由：切り替え意欲はあるものの、半年から1年は様子見の傾向

「事前申し込みをしていない」と答えた人に、その理由について聞きました（図7）。ずば抜けて多いのは「様子を見ている」（52.5%）。では、いつ切り替え予定かを聞いてみると、「電力自由化後から半年は様子を見たい」（29.7%）、「電力自由化後から1年は様子を見たい」（18.2%）と答えた人が多い結果に（図8）。このことから、切り替え意欲が低いというよりは、しばらくは動向を見守ってから動きたいという消費者心理が読み取れます。

【図7. 申し込みをしていない理由（単一回答）】



【図8. 今後切り替えるタイミング（単一回答）】



【まとめ】

電力小売り自由化についての認知率はほぼ100%。うち約半数が内容も把握しているという結果となりました。2015年10月の調査結果と比較すると、「内容を知っている」人が大きく増えており、電力自由化を目の前にして、消費者の関心が高まっていることがうかがえます。

続いて、4月の電力自由化スタートに先立って、事前申し込みを済ませた人は7.5%という結果に。申し込んだプランについては、「現在契約している大手電力会社のプラン」（31.4%）が最多で、決め手も「電気単体で安くなるから」（52.3%）がもっとも多く、現状では、従来の地域電力会社でのプラン変更がメインとなっている様子が見えます。逆に、ガスや携帯電話料金とのセット販売については、今後の伸びしろがあるといえそうです。

なお、「事前申し込みをしていない」理由としては、「様子を見ている」が約半数。「電力自由化後から半年は様子を見たい」（29.7%）、「電力自由化後から1年は様子を見たい」（18.2%）と答えた人が多く、切り替え意欲が低いというよりは、しばらくは動向を見守ってから動きたいという消費者心理が読み取れる結果となっています。

▼アンケート結果、および過去の調査アーカイブはこちらのページでもご覧いただけます

<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

▼「価格.com 電気料金比較」: <http://kakaku.com/energy/>

電力自由化に対応した電気料金プランの比較サービス。簡単な質問に答えるだけでプランを手軽に検索でき、節約額の多い順で比較できます。事業者の公式サイトにそのまま移動して申し込むことも可能。価格.com 限定のキャッシュバック特典も提供中です。家電の「電気代チェッカー」や電力自由化に関するニュース、電気料金の節約術など、充実した情報も参考にいただけます。

掲載事業者・プラン数：33社、219プラン（2016年3月17日時点）

参考) 電力自由化について: http://kakaku.com/energy/articlegroup/?en_articleGroup=1

イラストでよくわかる！電力自由化の全て: <http://kakaku.com/energy/liberalization/about.html>

【価格.com サイトデータ】(2015年12月現在)

月間利用者数 5,145万人、月間ページビュー9億875万PV、累計クチコミ件数約1,900万件

<月間利用者数の内訳> PC: 2,521万人 スマートフォン: 2,592万人

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「価格.com」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…